

## 地域精情報の創出 - 東南アジア地域を中心にして -

柴山 守 (京都大学 東南アジア研究所 教授)

### 【概 要】

近年の情報通信技術 (ICT) の進歩に伴い、人文・社会・自然各分野の諸学においても情報技術を利用した多様な研究が進められ、数多くの成果が挙げられています。これら諸学への情報技術の応用は、いまや人文・社会・自然各分野の諸学問との学際領域を形成する広領域の一分野としての情報学 (Informatics) として発展してきています。

一方、地域研究は、自然生態・環境、人類生態、社会・歴史・文化、経済・政治など人文・社会・自然各分野の諸学問のすべてを包摂しています。これらの研究の中で、地理情報システム (GIS : Geographical Information System) やリモートセンシング (RS : RemoteSensing) の活用に見られるように、情報学を積極的に採り入れた先駆的な研究もありますが、まだ十分な実例・経験・研究成果が蓄積されているとは言い難い現状です。

本研究では、こうした地域研究と情報学の現状を鑑み、双方からの学際領域としての「地域情報学 (Area Informatics)」を創出、構築することが課題だと考えています。そこで、情報通信技術を利用した地域研究の事例や研究成果を持ちより、「地域情報学」の構築に向けた経験交流を行うとともに、その体系について研究を深め、地域研究と情報学のコラボレーションと融合を目指します。

### 【期待される成果】

本研究から、以下に示すような成果が期待されます。

1. 地域研究において情報学的手法に基づくあらたな研究の展開。
2. 東南アジアを対象にした歴史・文化遺産のデジタルアーカイブやデジタルミュージアム、自然環境・生態、人類・社会生態情報のための3次元可視化システム、リモートセンシング画像の応用。
3. 東南アジア諸国における情報学コラボレーションと地域協力。
4. インターネットを利用した遠隔講義システムによる情報基盤形成、図書・地図等の1次・2次学術資料等の情報資源の共有化など。

### 【関連の深い論文・著書】

(1) Mamoru Shibayama, Atsushi Kajiyama, Venkatesh Raghavan, and Yasuyuki Kono: Mapping Historical Maritime Exchanges between Vietnam, Thailand, and Japan, International Journal of Geoinformatics, Vol.1, No.1, pp.139-145, March 2005

(2) Xian Feng Song, Yasuyuki Kono, Koji Tanaka, and Mamoru Shibayama : Integrating Geographic Collection Database Repositories with Z39.50-Compliant Gateway, Asian Journal of Geoinformatics, Vol.4, No.2, pp.31-36, December 2003

【研究期間】 平成 17 ~ 21 年度

【研究経費】 90,300,000 円

【ホームページ】 <http://gissv.cseas.kyoto-u.ac.jp/~sibayama>